

公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー
所管事務調査説明資料

目 次

第1章 公益財団法人福岡観光コンベンションビューローの概要

1	名称, 設立年月日, 所在地	1
2	設立目的	1
3	事業内容	1
4	基本財産	1
5	組織及び役職員数	2
6	役員及び評議員名簿	3

第2章 平成25年度決算状況

1	事業報告	4
2	決算財務諸表	10
3	財産目録	14
4	収支計算書	15
5	契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約	16
6	契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約	16

第3章 平成26年度事業計画

1	事業計画	17
2	収支予算書	22

平成26年 9月 1日

経済観光文化局

第1章 公益財団法人福岡観光コンベンションビューローの概要

1 名称, 設立年月日, 所在地

- (1) 名 称 公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー
- (2) 設立年月日 昭和62年 9月 1日
 - ※昭和22年11月 福岡市観光協会設立
 - 昭和40年12月 (社) 福岡市観光協会 (法人化)
 - 昭和62年 9月 (財) 福岡コンベンションビューロー設立
 - 平成 6年 4月 (社) 福岡市観光協会と (財) 福岡コンベンションビューロー合併
 - (財) 福岡観光コンベンションビューロー へ
 - 平成24年 4月 公益財団法人に移行
- (3) 所 在 地 福岡市中央区天神一丁目11番17号

2 設立目的

福岡市及び周辺地域との緊密な連携のもとに、観光客の誘致、コンベンション（国際・国内の各種会議、展示会等をいう。）の誘致等を行うことにより、福岡市における観光及びコンベンションの振興を図り、もって国際、国内観光の振興による人的交流の促進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に寄与することを目的とする。

3 事業内容

- (1) 観光客の誘致及び受入
- (2) コンベンションの誘致及び主催者に対する支援
- (3) 観光・コンベンション都市福岡の広報及び宣伝
- (4) 観光及びコンベンションの調査、企画及び開発
- (5) 観光及びコンベンションに関する情報の収集及び提供
- (6) 福岡市からの委託による受託事業の管理運営
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 基本財産

796,000千円（福岡市 755,000千円 94.8%）

6 役員及び評議員名簿（平成26年8月15日現在）

役職名	氏名	就任年月日	備考
会長	末吉紀雄	平成24年4月1日	福岡商工会議所会頭
副会長	中尾和毅	平成24年4月1日	西日本鉄道株式会社代表取締役副社長
専務理事	藤本道雄	平成26年4月1日	(常勤)
常務理事	横山達男	平成26年7月1日	(常勤)
理事	石橋和幸	平成26年7月1日	株式会社九電工取締役上席執行役員
理事	金子新	平成26年7月1日	福岡市ホテル旅館協会会長
理事	重光知明	平成26年4月1日	福岡市経済観光文化局長
理事	野島通信	平成25年5月29日	西部瓦斯株式会社代表取締役副社長執行役員
理事	山田浩	平成25年7月10日	一般社団法人日本旅行業協会九州支部長
監事	荒木英二	平成25年5月1日	株式会社福岡銀行取締役常務執行役員
監事	石原隆	平成26年7月1日	株式会社西日本シティ銀行執行役員地域振興部長
評議員	飯田光夫	平成26年4月1日	一般財団法人福岡コンベンションセンター専務理事
評議員	遠藤泰昭	平成24年4月1日	九州電力株式会社地域共生本部総務部長
評議員	千相哲	平成24年4月1日	九州産業大学商学部長
評議員	高橋誠	平成24年8月10日	九州観光推進機構事業本部長
評議員	田中 しんすけ	平成25年5月29日	福岡市議会第3委員会委員長
評議員	中園政直	平成25年5月1日	福岡市副市長
評議員	中村仁彦	平成24年4月18日	福岡商工会議所専務理事
評議員	古宮洋二	平成26年7月1日	九州旅客鉄道株式会社取締役総務部長

第2章 平成25年度決算状況

1 事業報告

(1) 概要

当財団は、観光・コンベンションの振興を図るため、国内外に向け様々な誘致活動、PR活動を展開しており、国際化・情報化の促進や福岡市のイメージアップなど大きな効果をもたらしてきた。これらの活動により、福岡市の国際コンベンション開催件数は、年々増加傾向にあり、JNTO（日本政府観光局）の発表では、平成24年の都市別国際コンベンション開催件数が、平成23年に引き続き全国2位となった。

また、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の放映開始に連動して、まち歩きプログラムの開発や各種研修会を実施するなど、平成25年度も、行政、関係団体及び企業と連携を深め、次の事業を実施した。

(2) 主要事業

ア 観光客の誘致

東南アジア諸国に対するビザ免除や条件緩和、円安等の好材料の中、平成25年の福岡空港・博多港からの外国人入国者数は、過去最高の89万人となった。

国内では、岡山県、徳島県、滋賀県、奈良県において、旅行業者及び教育関係者に対する修学旅行等の誘致活動を行い、海外においては、釜山広域市やソウル市からの観光客誘致につなげるため、JNTO（日本政府観光局）ソウル事務所との連携事業を行い、関係強化を図るとともに、タイ王国バンコク市での国際旅行博や釜山国際観光展への出展、香港での福岡市・釜山市の共同トッププロモーションに参加したほか、国のビジット・ジャパン・キャンペーン事業を活用し、シンガポールのインセンティブツアー誘致に実績のある旅行業者や上海のメディアキーパーソンの招へいを実施するなど、集客交流の拡大に努めた。

また、外国クルーズ客船については、韓国・中国との外交問題の影響を受け一時的な減少となったが、中期的にはクルーズ需要の伸びが見込まれることから、クルーズ乗船客が、福岡及び近郊都市で快適な旅を体験するための観光案内や情報提供、受入サポート等の事業を行った。

【実施事業】

- (ア) 交流協定締結の海外団体との交流促進
- (イ) 福岡市・釜山広域市共同観光客誘致事業〔共同説明会：11/29 香港〕
- (ウ) 福岡観光プロモーション協議会事業
 - ・国内誘致宣伝事業（修学旅行の誘致等）

[7/1～7/3 岡山県・徳島県, 7/10～7/12 滋賀県・奈良県, 11/27～28 鹿児島県]

[九州7県合同修学旅行説明会・相談会(対象:中学校・高校・旅行代理店・航空会社):8/7 名古屋市, 8/21 東京都]

- ・海外誘致宣伝事業(旅行社訪問等)[説明会&商談会:韓国2回][プロモーション:バンコク1回, 香港1回][招請事業:シンガポール1回, 中国1回]
- ・海外の観光展への出展[釜山国際観光展:9/6～9/9 来客者94,484人][タイ国際旅行フェア出展:2/19～2/23 来客者約60万人]
- ・ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業等

(エ) 博多祇園山笠宣伝隊派遣事業[6/3 市内宣伝, 6/5～6 市外宣伝(東京都・横浜市)]

(オ) 外国クルーズ客船受入事業[19回受入]

- ・クルーズ客船用ウェルカムゲート運営
- ・クルーズ客船用観光マップ等製作
[英語・中国語(繁体字)・韓国語併記を3万部製作]
- ・クルーズ客船受入及び人材サポート事業
[ウェルカム・サポーター活動実績:延べ240人]
- ・多言語ガイド育成研修事業

(カ) 他団体との連携

- ・観光関係団体との連携
- ・小規模イベントスペース管理

イ MICEの誘致及び支援

平成25年度は、「国際固体素子・材料カンファレンス」、「反応性プラズマ国際会議」等の国際会議の他、「日本外科学会総会」、「日本透析器学会学術集会・総会」等の国内医学系学術会議、「全国レクリエーション大会・福岡大会」等の大型コンベンションが次々と開催された。

国際会議の誘致に関しては、I C C A (国際会議協会)の正会員となり、10,000件を超える国際会議案件のデータに直接アクセスできる資格を得た。また、同協会の支援により欧州最大の見本市であるI M E X (フランクフルト)に出展した他、I T & C M A (バンコク)など海外でのM I C E専門見本市にも初めて出展した。

市内及び近隣の大学等を訪問し、情報収集活動や営業活動を行うとともに、福岡市及び一般財団法人福岡コンベンションセンターと共同で、首都圏等の学会・大会の事務局やキーパーソン等に対し福岡開催のための営業活動を行い、「日本臨床外科学会」、「日本癌治療学会」等、医学系大型コンベンションを中心に平成26年度以降のコンベンション誘致に成功した。

また、国土交通省、J N T O (日本政府観光局)及びJ C C B (日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー)主催の国内唯一のM I C E大規模見本市であるI M E (国際ミー

ティング・エキスポ)に出展し、MICEの誘致拡大を図った。

コンベンション主催者への支援では、国際及び国内大規模コンベンションへの助成を行ったほか、学会などの地元開催を支援するコンベンションサポート制度の拡充・利用促進に努めた。

【実施事業】

(ア) コンベンション誘致活動

	平成25年度	平成24年度
国内コンベンション	146件	122件
国際コンベンション	23件	35件

- ・大学、団体等への誘致活動
- ・国際・国内コンベンション誘致活動
- ・IME（国際ミーティング・エキスポ）出展
〔12/10～11 東京国際フォーラム，商談件数：141件〕
- ・IMEX〔5/20～23 ドイツ・フランクフルト，招待バイヤー：約4,000名〕，
IT&CMA出展〔10/1～3 タイ・バンコク，招待バイヤー：約400名〕

(イ) コンベンション支援活動

- ・国際・国内大規模コンベンション開催資金の助成

	平成25年度	平成24年度
国内コンベンション	13件	5件
国際コンベンション	16件	29件

- ・コンベンションサポート制度〔サポート件数：25団体，延べ43件〕
- ・大規模コンベンションへの郷土芸能の提供，歓迎看板の設置及び臨時案内所の設置
- ・観光ガイドブック，飲食店・おみやげガイドブック等の提供
- ・コンベンションバッグの販売

(ウ) 他団体との連携

(エ) インセンティブツアーの誘致

- ・インセンティブツアー誘致活動
〔誘致件数：韓国4件 705名，タイ4件 402名，台湾10件 5,596名など〕
- ・インセンティブツアー歓迎事業〔空港出迎え：33件，歓迎挨拶：9件，ガイドブック等の提供：19件，郷土芸能提供：2件〕

ウ 福岡の魅力向上

来福者のニーズの把握に努めるとともに、観光案内業務のスキルアップを図りながら、来福者が快適に過ごせる受入環境の整備に努めた。また、福岡市の有する都市観光の魅力や歴史・文化・祭りなどの観光資源を十分に活用した魅力づくりを推進した。

さらに、観光客などへのサービスの向上を図るために、福岡市民、学生、都市圏で学ぶ留学生・就学生等で構成するウェルカム・サポーターを運営し、クルーズ船寄港時に多言語による案内業務など、福岡市を訪れる国内外の観光客などに対して、サービスの向上と市民と一体となったおもてなしを行った。

また、どんたく、山笠などの祭りの振興、観光案内ボランティアの支援などを行うとともに、福岡検定の実施、体験型（着地型）観光のプロモーション（「福たび」の事務局運営等）などを行った。

【実施事業】

(ア) 観光情報の総合マネジメント

- ・観光ガイドブックの製作・発行

〔日本語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、英語 計48万部〕

- ・ホームページの管理運営

(イ) 観光案内機能の充実強化

- ・福岡市観光案内ボランティアの運営
- ・福岡市観光案内ボランティアの研修〔研修10回、受講者数337名〕
- ・観光サービス業従事者等研修会の開催

〔5/22・23（190名）、9/11（92名）、1/15（136名）、2/4（121名）〕

(ウ) 福岡観光マップ「トマール・フクオカ」の発行〔年6回発行、各60,000部〕

(エ) ウェルカム・サポーターの運営〔登録数：219名（平成25年度末現在、留学生等の外国人92名、日本人127名）、活動実績：延べ404人〕

(オ) 観光案内所ネットワークミーティングの実施〔4回実施、参加団体 延べ19団体〕

(カ) 博多どんたくの共催（臨時観光案内所と観光棧敷席の運営・管理）

(キ) 博多祇園山笠助成及び集団山見せの共催

(ク) 福岡検定の実施

(ケ) 各行事助成金（ふくこいアジア祭り等）

(コ) 福岡おもてなし委員会の運営

(サ) 福岡県観光土産品公正取引協議会事務局の運営

(シ) 体験型（着地型）観光のプロモーション（「福たび」キャンペーンの事務局運営等）

〔パンフレット（福たび）発行：4回、体験型まち歩き等：①スポット・イベント型 148プログラム、②通年型 35プログラム〕

エ 広報・宣伝

福岡の観光及びコンベンションに関する最新の情報を提供するため、ホームページの管理運営や広報紙「オーシャンズ・フクオカ」の発行などを行った。

【実施事業】

(ア) ホームページの管理・運営（再掲）

(イ) 広報紙「オーシャンズ・フクオカ」の発行

(ウ) 観光統計情報の充実

オ 組織の総合力の強化

会員間相互や当財団との情報交換及び会員の意見を事業運営に反映させるための交流会を

実施したほか、福岡市で開催される会議・展示会などの情報を網羅した「コンベンションスケジュール」の作成及び提供を行った。

【実施事業】

- (ア) 賛助会員交流会の実施〔11/19 ソラリア西鉄ホテル、137団体、230名参加〕
- (イ) 「コンベンションスケジュール」の作成及び提供

カ 福岡市等からの受託事業の実施（再掲）

【実施事業】

- (ア) 外国クルーズ客船用ウェルカムゲート運営
- (イ) コンベンションサポート制度
- (ウ) 観光案内機能の充実強化
 - ・福岡市観光案内ボランティアの運営
 - ・観光サービス業従事者研修会の開催
- (エ) 福岡県観光土産品公正取引協議会事務局の運営
- (オ) 体験型(着地型)観光のプロモーション(「福たび」キャンペーンの事務局運営等)
- (カ) 観光統計情報の充実

キ 福岡市からの負担金事業（再掲）

【実施事業】

- (ア) 国際・国内大規模コンベンション開催資金の助成
- (イ) コンベンション誘致活動
- (ウ) コンベンションサポート事業
- (エ) インセンティブツアー誘致活動
- (オ) 外国クルーズ客船受入及び人材サポート事業
- (カ) 多言語ガイド育成研修事業

ク 自主事業（主なものを再掲）

【実施事業】

- (ア) 福岡市・釜山広域市共同観光客誘致事業
- (イ) 福岡観光プロモーション協議会事業
- (ウ) 観光案内所のネットワーク化
- (エ) イベント情報付観光ガイドブック「トマール・フクオカ」の発行
- (オ) 博多どんたくの共催
- (カ) 博多祇園山笠助成及び集団山見せの共催
- (キ) 福岡おもてなし委員会の運営
- (ク) 広報紙「オーシャンズ・フクオカ」の発行
- (ケ) 賛助会員交流会の開催

ケ 自主財源の内訳

(単位：円)

科 目	平成25年度 予 算 額 (A)	平成25年度 決 算 額 (B)	増 減 (A) - (B)
基本財産運用収入	11,600,000	11,248,182	351,818
会 費 収 入	27,000,000	26,190,000	810,000
事 業 収 入	2,361,000	2,456,012	△ 95,012
広告料収入	1,333,000	919,996	413,004
事 業 収 入	250,000	294,572	△ 44,572
販 売 収 入	778,000	1,241,444	△ 463,444
計	40,961,000	39,894,194	1,066,806

(3) 会 議

会 議 名	日 時 ・ 場 所	内 容
平成25年度 第1回理事会	平成25年5月21日 福岡国際ホール	平成24年度事業報告 平成24年度収支決算 評議員会の開催
平成25年度 第1回評議員会	平成25年5月29日 ソラリア西鉄ホテル	平成24年度事業報告 平成24年度収支決算
平成25年度 第2回理事会	平成26年3月31日 ソラリア西鉄ホテル	平成26年度事業計画案 平成26年度収支予算案

(4) 出捐金・賛助会費状況 (平成26年3月31日現在)

出 捐 金	796,000千円	60団体・企業
賛助会費	26,190千円	600団体・企業

2 決算財務諸表

(1) 貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	45,229,950	18,401,838	26,828,112
未収金	28,321,814	33,795,844	△ 5,474,030
前払金	36,750	0	36,750
商品	210,780	147,690	63,090
貯蔵品	50,350	137,910	△ 87,560
流動資産合計	73,849,644	52,483,282	21,366,362
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	29,618,602	129,618,602	△ 100,000,000
普通預金	361,617	240,742	120,875
投資有価証券	766,019,781	666,140,656	99,879,125
基本財産合計	796,000,000	796,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	6,110,210	5,527,530	582,680
特定資産合計	6,110,210	5,527,530	582,680
(3) その他固定資産			
建物附属設備	784,994	589,673	195,321
什器備品	738,799	403,791	335,008
ソフトウェア	618,800	0	618,800
電話加入権	907,603	907,603	0
その他固定資産合計	3,050,196	1,901,067	1,149,129
固定資産合計	805,160,406	803,428,597	1,731,809
資産合計	879,010,050	855,911,879	23,098,171
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	43,686,130	18,917,218	24,768,912
前受金	256,000	60,000	196,000
預り金	742,158	1,729,478	△ 987,320
賞与引当金	3,488,336	2,856,481	631,855
流動負債合計	48,172,624	23,563,177	24,609,447
2 固定負債			
退職給付引当金	6,110,210	5,527,530	582,680
固定負債合計	6,110,210	5,527,530	582,680
負債合計	54,282,834	29,090,707	25,192,127
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
福岡市寄付金	755,000,000	755,000,000	0
福岡県寄付金	2,000,000	2,000,000	0
民間寄付金	39,000,000	39,000,000	0
指定正味財産合計	796,000,000	796,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(796,000,000)	(796,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	28,727,216	30,821,172	△ 2,093,956
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(601,970)	(△ 601,970)
正味財産合計	824,727,216	826,821,172	△ 2,093,956
負債及び正味財産合計	879,010,050	855,911,879	23,098,171

(2) 正味財産増減計算書（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	11,248,182	11,537,019	△ 288,837
② 受取会費			
受取賛助会員会費	26,190,000	27,235,000	△ 1,045,000
③ 事業収益			
広告料収益	919,996	4,058,880	△ 3,138,884
事業収益	294,572	3,185,741	△ 2,891,169
販売収益	1,241,444	1,379,393	△ 137,949
④ 受取負担金			
受取負担金	142,064,963	146,201,180	△ 4,136,217
⑤ 受託事業収益			
受託事業収益	31,065,050	38,412,581	△ 7,347,531
⑥ 雑収益			
受取利息	3,875	3,562	313
雑収益	109,915	23,713	86,202
経常収益計	213,137,997	232,037,069	△ 18,899,072
(2) 経常費用			
① 事業費	210,393,327	217,093,462	△ 6,700,135
② 管理費	4,131,743	5,882,133	△ 1,750,390
経常費用計	214,525,070	222,975,595	△ 8,450,525
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,387,073	9,061,474	△ 10,448,547
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,387,073	9,061,474	△ 10,448,547
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
建物付属設備除却損	589,673	0	589,673
什器備品除却損	117,210	0	117,210
経常外費用計	706,883	0	706,883
当期経常外増減額	△ 706,883	0	△ 706,883
当期一般正味財産増減額	△ 2,093,956	9,061,474	△ 11,155,430
一般正味財産期首残高	30,821,172	21,759,698	9,061,474
一般正味財産期末残高	28,727,216	30,821,172	△ 2,093,956
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	796,000,000	796,000,000	0
指定正味財産期末残高	796,000,000	796,000,000	0
III 正味財産期末残高	824,727,216	826,821,172	△ 2,093,956

(3) 財務諸表に対する注記

ア 重要な会計方針

(ア) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の有価証券については償却原価法（定額法）を採用している。

(イ) 棚卸資産の減価償却の方法

最終仕入原価法による原価法を採用している。

(ウ) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用している。

(エ) 引当金の計上基準

①退職給付引当資産については期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

②賞与引当金については支給見込額の当期負担分を計上している。

(オ) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

イ 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	129,618,602	0	100,000,000	29,618,602
普通預金	240,742	120,875	0	361,617
投資有価証券	666,140,656	99,879,125	0	766,019,781
小計	796,000,000	100,000,000	100,000,000	796,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	5,527,530	582,680	0	6,110,210
小計	5,527,530	582,680	0	6,110,210
合計	801,527,530	100,582,680	100,000,000	802,110,210

ウ 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	29,618,602	(29,618,602)	(0)	(0)
普通預金	361,617	(361,617)	(0)	(0)
投資有価証券	766,019,781	(766,019,781)	(0)	(0)
小計	796,000,000	(796,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	6,110,210	(0)	(0)	(6,110,210)
小計	6,110,210	(0)	(0)	(6,110,210)
合計	802,110,210	(796,000,000)	(0)	(6,110,210)

エ 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
建 物 附 属 設 備	800,306	15,312	784,994
什 器 備 品	2,123,600	1,384,801	738,799
ソ フ ト ウ ェ ア	714,000	95,200	618,800
電 話 加 入 権	907,603	0	907,603
合 計	4,545,509	1,495,313	3,050,196

オ 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
第269回利付国庫債券	26,088,255	26,410,590	322,335
福岡県平成16年度第5回公債	149,985,000	151,995,000	2,010,000
北海道平成18年度第10回公債	140,223,860	146,524,000	6,300,140
北海道平成20年度第16回公債	149,887,500	160,410,000	10,522,500
兵庫県平成23年度第1回公債	199,936,000	216,680,000	16,744,000
兵庫県平成25年度第3回公債	99,899,166	97,180,000	△2,719,166
合 計	766,019,781	799,199,590	33,179,809

カ 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当期増加額	当期減少額	当期末 残 高	貸借対照 表上の 記載区分
受取負担金 受取負担金	福岡市	0	140,204,963	140,204,963	0	
合 計		0	140,204,963	140,204,963	0	

キ 指定正味財産から一般正味資産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 基本財産受取利息の振替額	11,537,019
合 計	11,537,019

3 財 産 目 録 (平成26年 3 月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	預金	普通預金			
		西日本シティ銀行天神支店	運転資金	27,076,949	
		福岡銀行本店福岡市庁内出張所	運転資金	14,256,440	
		福岡中央銀行本店営業部	運転資金	3,865,266	
	西日本シティ銀行コンベンション開催資金	運転資金	31,295		
	未収金	福岡市受託料 その他	公益目的事業 公益目的事業、収益事業、管理業務	26,329,500 1,992,314	
商品	コンベンションバッグ	公益目的事業	210,780		
貯蔵品	切手	公益目的事業、収益事業、管理業務	50,350		
前払金		公益目的事業	36,750		
流 動 資 産 合 計				73,849,644	
(固定資産)	基本財産	定期預金	西日本シティ銀行天神支店	運用益を公益目的事業、管理業務の財源としている。	6,420,178
		福岡銀行本店福岡市庁内出張所	運用益を公益目的事業、管理業務の財源としている。	13,198,424	
		福岡中央銀行本店営業部	運用益を公益目的事業、管理業務の財源としている。	10,000,000	
	普通預金	西日本シティ銀行天神支店	運用益を公益目的事業、管理業務の財源としている。	361,617	
	投資有価証券	第269回利付国庫債券	運用益を公益目的事業、管理業務の財源としている。	26,088,255	
		福岡県平成16年度第5回公債	運用益を公益目的事業、管理業務の財源としている。	149,985,000	
		北海道平成18年度第10回公債	運用益を公益目的事業、管理業務の財源としている。	140,223,860	
		北海道平成20年度第16回公債	運用益を公益目的事業、管理業務の財源としている。	149,887,500	
		兵庫県平成23年度第1回公債	運用益を公益目的事業、管理業務の財源としている。	199,936,000	
		兵庫県平成25年度第3回公債	運用益を公益目的事業、管理業務の財源としている。	99,899,166	
	特定資産	退職給付引当資産	西日本シティ銀行天神支店	退職金の財源	6,110,210
	その他	建物附属設備	間仕切工事等	共用財産（事務所内装工事代）	784,994
	固定資産	什器備品	スライド式収納庫他	共用財産（事務所内備品）	738,799
ソフトウェア		コンベンションデータプログラム	共用財産（事務所内備品）	618,800	
電話加入権		電話加入権	共用財産（事務所用）	907,603	
固 定 資 産 合 計				805,160,406	
資 産 合 計				879,010,050	
(流動負債)	未払金	福岡市負担金返還金	公益目的事業、収益事業、管理業務	13,923,037	
		コンベンション開催助成金ほか	公益目的事業、収益事業、管理業務	29,763,093	
	前受金	賛助会費他	公益目的事業、管理業務	256,000	
	預り金	社会保険料、雇用保険、源泉所得税	役職員、臨時職員他	742,158	
	賞与引当金	職員	職員10名	3,488,336	
流 動 負 債 合 計				48,172,624	
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員 3 名	6,110,210	
固 定 負 債 合 計				6,110,210	
負 債 合 計				54,282,834	
正 味 財 産				824,727,216	

4 収支計算書（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

(1) 収支計算書

(単位：円)

科 目	当初予算額	最終予算額	決算額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	11,600,000	11,600,000	11,248,182	351,818	基本財産の運用収入
受取会費	27,000,000	27,000,000	26,190,000	810,000	賛助会費収入
事業収益	2,361,000	2,361,000	2,456,012	△ 95,012	広告料収益等
受取負担金	156,474,000	155,128,000	142,064,963	13,063,037	福岡市負担金等
受託事業収益	27,157,000	30,957,000	31,065,050	△ 108,050	受託事業収入
雑収益	40,000	40,000	113,790	△ 73,790	受取利息等
経常収益計	224,632,000	227,086,000	213,137,997	13,948,003	
(2) 経常費用					
事業費	215,153,000	213,143,000	210,393,327	2,749,673	各事業費
管理費	11,528,000	15,252,000	4,131,743	11,120,257	人件費、光熱水費等
経常費用計	226,681,000	228,395,000	214,525,070	13,869,930	
当期経常増減額	△ 2,049,000	△ 1,309,000	△ 1,387,073	78,073	
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	706,883	△ 706,883	
除却損失	0	0	706,883	△ 706,883	
当期経常外増減額	0	0	△ 706,883	706,883	
当期一般正味財産増減額	△ 2,049,000	△ 1,309,000	△ 2,093,956	784,956	
一般正味財産期首残高	22,118,000	22,118,000	30,821,172	△ 8,703,172	
一般正味財産期末残高	20,069,000	20,809,000	28,727,216	△ 7,918,216	
II 指定正味財産増減の部					
投資有価証券受取利息	11,600,000	11,600,000	11,248,182	351,818	
一般正味財産への振替額	△ 11,600,000	△ 11,600,000	△ 11,248,182	△ 351,818	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	796,000,000	796,000,000	796,000,000	0	
指定正味財産期末残高	796,000,000	796,000,000	796,000,000	0	
III 正味財産期末残高	816,069,000	816,809,000	824,727,216	△ 7,918,216	

(注) 管理費に計上していた人件費，その他経費のうち，事業の目的のために要する費用については事業費に計上している。

(2) 収支計算書に対する注記

ア 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金(基本財産の現金預金を除く。)、未収金、前払金、未払金、前受金、預かり金及び賞与引当金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記イに記載するとおりである。

イ 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	18,401,838	45,229,950
未 収 金	33,795,844	28,321,814
前 払 金	0	36,750
合 計	52,197,682	73,588,514
未 払 金	18,917,218	43,686,130
前 受 金	60,000	256,000
預 かり 金	1,729,478	742,158
賞 与 引 当 金	2,856,481	3,488,336
合 計	23,563,177	48,172,624
次期繰越収支差額	28,634,505	25,415,890

5 契約金額が3億円以上の工事又は製造の請負の契約

該当なし

6 契約金額が4,000万円以上の不動産等の買入れ等の契約

該当なし

第3章 平成26年度事業計画

1 事業計画

当財団は、観光・コンベンションの振興のため、様々な誘致活動やPR活動を進め、福岡市における観光の国際化・情報化の促進を図り、福岡のイメージアップに努めているところである。

平成26年度は、従来からの取組みに加え、産学官民一体となった「オール福岡」体制でのMICE推進に向けて「Meeting Place Fukuoka」を設置し、最新のコンベンションに関する情報を収集・分析し、キーパーソン等への接触・セールス・折衝などを積極的に行っていく。

(1) 観光客の誘致

ア 観光プロモーション

平成26年度は、KLMオランダ航空の増便や、バンコク・香港からのLCC（格安航空会社）の就航により、福岡をとりまく人的交流環境はますます拡大基調にある。このような機会を着実にとらえ、国内外の観光客等の誘致促進のため、戦略的かつ積極的に事業等を実施していく。

国内においては、修学旅行や個人、団体観光客等の誘致促進のため、関西圏及び四国地区等に重点を置いたプロモーションに努める。

(ア) 交流協定締結の海外団体との交流促進

(イ) 福岡市・釜山広域市共同観光客誘致事業

(ウ) 福岡観光プロモーション協議会事業

・国内誘致宣伝事業（修学旅行の誘致等）

・海外誘致宣伝事業（旅行社訪問、国際観光展出展、旅行業者やマスコミ等の招へい等）

(エ) 博多祇園山笠宣伝隊派遣事業

イ 外国クルーズ客船受入事業

外国からのクルーズ乗船客が、福岡及び近郊都市で快適な旅を体験できるよう、観光案内を一体的に組織・運営し、福岡への継続的なクルーズ客船寄港に向けた事業として推進していく。

(ア) クルーズ客船用ウェルカムゲート運営

(イ) クルーズ客船用観光マップ等製作

(ウ) クルーズ客船受入及び人材サポート事業

(エ) 多言語ガイド育成研修事業

ウ 他団体との連携

九州各都市や福岡都市圏、久留米、柳川の観光団体等との連携による共同誘致事業などを展開し、エリア間・都市間の回遊性の向上に努める。また、市役所西側ふれあい広場北側緑地を自治体等の小規模イベントに供する際、イベントスペースの管理を行う。

(2) MICEの誘致及び支援

国内外の誘致案件の調査・営業から、開催の受入支援や産業振興のためのビジネスコーディネイトまで、MICEの誘致・支援を専門的かつワンストップで行う体制として、「Meeting Place Fukuoka」を設置し、産学官民連携によりMICEの推進を行う。

ア コンベンションの誘致

学会・大会の事務局やキーパーソンなどに対しセールス活動を行う。

(ア) コンベンションの誘致活動（地元・首都圏・関西圏等）

(イ) I M E（国際ミーティング・エキスポ）出展

(ウ) I C C A（国際会議協会）データベース等の分析による誘致案件抽出と海外MICE見本市出展

(エ) マーケティングの強化

イ コンベンションの支援

国内有数のおもてなし都市福岡を実現するため、市内で開催されるコンベンションに対し、事前準備段階から開催に至るまで、様々な支援・サービスを実施する。

(ア) 国際・国内大規模コンベンション開催資金の助成及び貸付

(イ) コンベンションサポート制度

・主催者に対する登録企業の紹介・あっせんなどの支援

(ウ) その他のコンベンション開催支援

・観光ガイドブック、飲食店・おみやげガイドブック等の提供

・郷土芸能の提供、歓迎看板の設置及び臨時案内所の設置

・国際コンベンション支援語学ボランティア事業

ウ 他団体との連携

コンベンション関係団体との緊密な連携及び関係強化を図ることにより、コンベンション誘致に係る情報収集活動や共同誘致活動などを行う。

エ インセンティブツアーの誘致

インセンティブツアー（企業が成績優秀社員を海外に招待する報奨旅行）は、ツアーの規模が大きくグレードも高いという特徴があり、地元経済に大きな波及効果をもたらすため、誘致活動を推進する。

(ア) インセンティブツアー誘致活動（韓国、台湾、香港、タイ及びシンガポール等での営業活動）

(イ) インセンティブツアー歓迎事業（福岡空港及び博多港での出迎えや歓迎式典、観光ガイドブック等の提供）

オ ライオンズクラブ国際大会準備

平成28年度に開催される大規模国際コンベンション「ライオンズクラブ国際大会」における

円滑な受入のため、ホテル、輸送体制、パレードなど各分野での準備を推進する。

カ ビジネスコーディネイト

福岡で開催される各種コンベンションなどの機会をとらえ、参加者と地元企業がビジネスにつながるようなコーディネイトを行う。

(3) 福岡の魅力向上

ア 観光案内・観光客の利便性向上

来福者のニーズの把握に努めるとともに、観光案内業務のスキルアップを図りながら、来福者が快適に過ごせる受入環境の整備に努める。

(ア) 観光案内所の管理・運営及びネットワーク化

(イ) イベント情報付観光ガイドブック「トマール・フクオカ」の発行

(ウ) ホームページの管理運営

(エ) 観光案内機能の充実強化

- ・福岡市観光案内ボランティアの運営及び活動拠点の管理
- ・観光サービス業従事者向けスキルアップ研修の企画・運営
- ・まち歩きコースの開発、案内パンフレットの製作

(オ) ウェルカム・サポーターの運営

イ 魅力増進

福岡の有する都市観光の魅力や歴史・文化・祭りなどの観光資源を十分に活用した魅力づくりを推進する。

(ア) 博多どんたくの共催（臨時観光案内所の運営・管理）

(イ) 福岡検定の実施

(ウ) 博多祇園山笠助成及び集団山見せの共催

(エ) 各行事助成金（ふくこいアジア祭り等）

(オ) 福岡おもてなし委員会の運営

(カ) 福岡県観光土産品公正取引協議会事務局の運営

(キ) 体験型(着地型)観光のプロモーション（「福たび」キャンペーンの事務局運営等）

(4) 広報・宣伝

ア 国内外に向けた情報の発信

福岡の観光及びコンベンションに関する最新の情報を提供するため、ホームページの管理運営や広報紙「オーシャンズ・フクオカ」の発行などを行う。

(ア) ホームページの管理運営（再掲）

(イ) 広報紙「オーシャンズ・フクオカ」の発行

イ マスコミへの情報提供

観光・コンベンションに関する情報提供を積極的に行う。

(5) 組織の総合力の強化

ア 賛助会員サービス

会員間相互や当財団との情報交換や会員の意見を事業運営に反映させるための交流会を実施するほか、福岡市で開催される会議・展示会などの情報を網羅した「コンベンションスケジュール」の作成及び提供を行う。

(ア) 賛助会員交流会の開催

(イ) 賛助会員名簿の作成・提供

(ウ) 「コンベンションスケジュール」の作成及び提供

イ 観光コンベンション推進事業

観光コンベンションの総合的な調査及び企画に関すること。

(6) 福岡市からの負担金事業（福岡市からの負担金事業を再掲）

ア 国際・国内大規模コンベンション開催資金の助成

イ コンベンション誘致活動

ウ コンベンションサポート事業

エ インセンティブツアー誘致活動

オ 外国クルーズ客船受入及び人材サポート事業

カ 多言語ガイド育成研修事業

キ 外国クルーズ客船用ウェルカムゲート運営

ク コンベンションの支援（国際コンベンション支援語学ボランティア事業）

ケ 観光案内機能の充実強化

- ・福岡市観光案内ボランティアの運営及び活動拠点の管理
- ・観光サービス業従事者向けスキルアップ研修の企画・運営
- ・まち歩きコースの開発，案内パンフレットの製作

コ 観光案内所の管理・運営及びネットワーク化

サ 福岡県観光土産品公正取引協議会事務局の運営

シ 体験型（着地型）観光のプロモーション（「福たび」キャンペーンの事務局運営等）

ス ライオンズクラブ国際大会準備

(7) 自主事業（自主事業の主なものを再掲）

ア 福岡市・釜山広域市共同観光客誘致事業

イ 福岡観光プロモーション協議会事業

ウ 観光案内所のネットワーク化

エ イベント情報付観光ガイドブック「トマール・フクオカ」の発行

オ 博多どんたくの共催

カ 博多祇園山笠助成及び集団山見せの共催

- キ 福岡おもてなし委員会の運営
- ク 広報紙「オーシャンズ・フクオカ」の発行
- ケ 賛助会員交流会の開催

(8) 自主財源の内訳

(単位：千円)

科 目	平成26年度 予 算 額(A)	平成25年度 予 算 額(B)	増 減 (A) - (B)
基本財産運用収入	11,526	11,600	△ 74
会 費 収 入	72,500	27,000	45,500
事 業 収 入	2,649	2,361	288
広 告 料 収 入	1,621	1,333	288
事 業 収 入	250	250	0
販 売 収 入	778	778	0
計	86,675	40,961	45,714

2 収支予算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(1) 収支予算書

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	11,526	11,600	△ 74	基本財産の運用利息
受取会費	72,500	27,000	45,500	賛助会員の会費収入
事業収益	2,649	2,361	288	
・ 広告料収入	1,621	1,333	288	
・ 事業収入	250	250	0	
・ 販売収入	778	778	0	
受取負担金	283,620	156,474	127,146	福岡市からの負担金収入等
・ 人件費等	67,154	67,601	△ 447	
・ MICEビューロー運営費	47,500	0	47,500	新規事業
・ コンベンション開催資金助成金	35,000	35,000	0	
・ 観光案内所経費	30,665	0	30,665	福岡市から新規移管等
・ クルーズ客船受入事業等	20,805	11,546	9,259	福岡市からの一部移管等
・ 戦略的情報発信事業	13,980	0	13,980	福岡市から新規移管等
・ 着地型観光振興事業	11,597	0	11,597	受託事業からの変更等
・ まち歩き観光振興事業	11,114	0	11,114	受託事業からの変更
・ 観光プロモーション事業	8,100	0	8,100	福岡市から新規移管事業
・ インセンティブツアー支援事業	5,000	5,000	0	
・ ライオンズクラブ国際大会	5,000	0	5,000	新規事業
・ ICCA関連・IMEX出展	3,800	4,300	△500	
・ 国内外観光客誘致宣伝事業	3,500	3,500	0	
・ コンベンションサポート事業	1,500	1,500	0	
・ インセンティブツアー誘致活動	1,181	1,004	177	
・ 多言語ガイド育成研修事業	1,100	5,082	△3,982	
・ その他事業負担金	14,124	20,941	△6,817	
・ その他(市以外)	2,500	1,000	1,500	参加者負担金等
受託事業収益	622	27,157	△26,535	福岡市からの受託収入等
・ 小規模イベントスペース管理	86	84	2	
・ その他受託事業収益	0	26,549	△26,549	負担金事業への変更
・ その他(市以外)	536	524	12	
雑収益	40	40	0	
経常収益計	370,957	224,632	146,325	

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
(2) 経常費用				
事業費	363,297	215,153	148,144	直接事業に係る経費
・コンベンション誘致・支援事業費	148,188	52,393	95,795	
・観光客誘致受入事業費	89,698	37,719	51,979	
・人件費等	87,022	91,427	△ 4,405	
・広報・宣伝事業費	31,290	2,856	28,434	
・調査・企画・開発事業費	7,013	5,545	1,468	
・受託事業費	86	25,213	△ 25,127	
管理費	7,809	11,528	△ 3,719	管理的経費
経常費用計	371,106	226,681	144,425	
当期経常増減額	△ 149	△ 2,049	1,900	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 149	△ 2,049	1,900	
一般正味財産期首残高	20,069	22,118	△ 2,049	
一般正味財産期末残高	19,920	20,069	△ 149	
II 指定正味財産増減の部				
投資有価証券受取利息	11,526	11,600	△ 74	
一般正味財産への振替額	△ 11,526	△ 11,600	74	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	796,000	796,000	0	
指定正味財産期末残高	796,000	796,000	0	
III 正味財産期末残高	815,920	816,069	△ 149	

(2) 収支予算書内訳書

(単位：千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	5,763	0	5,763	0	11,526
受取会費	69,900	0	2,600	0	72,500
事業収益	2,479	170	0	0	2,649
受取負担金	270,147	9,989	3,484	0	283,620
受託事業収益	622	0	0	0	622
雑収益	0	0	40	0	40
経常収益計	348,911	10,159	11,887	0	370,957
(2) 経常費用					
事業費	350,006	13,291	0	0	363,297
・コンベンション誘致・支援事業費	148,188	0	0	0	148,188
・観光客誘致受入事業費	89,698	0	0	0	89,698
・人件費等	80,744	6,278	0	0	87,022
・広報・宣伝事業費	31,290	0	0	0	31,290
・調査・企画・開発事業費	0	7,013	0	0	7,013
・受託事業費	86	0	0	0	86
管理費	0	0	7,809	0	7,809
経常費用計	350,006	13,291	7,809	0	371,106
当期経常増減額	△1,095	△3,132	4,078	0	△149
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(3) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△1,095	△3,132	4,078	0	△149
一般正味財産期首残高					20,069
一般正味財産期末残高					19,920
II 指定正味財産増減の部					
投資有価証券受取利息	5,763	0	5,763	0	11,526
一般正味財産への振替額	△5,763	0	△5,763	0	△11,526
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	398,000	0	398,000	0	796,000
指定正味財産期末残高	398,000	0	398,000	0	796,000
III 正味財産期末残高					815,920